



東北大学病院 卒後研修センター

Find your way!



ごあいさつ



富永 悌二
東北大学病院 病院長

東北大学病院は、国内で最も古い歴史を持つ大学病院の一つとして、「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」の基本理念の下、医療技術の開発や安心・安全な医療の提供に力を尽くすとともに、大学病院の使命である優秀な医療人の育成に病院一丸となって取り組んでいます。昨年春には世界最高水準の医療機器を導入した先進医療棟がオープンし、機能性と安全性を高度に両立する先端医療を皆さんに実践いただくことが可能となりました。また本学建学以来「門戸開放」をモットーとしており、様々な出身大学のたくさんの研修医の方々が本院のプログラムで研修を行っております。これからも魅力ある研修環境を提供するとともに、病院全体で研修医の皆さんのサポートを行って参ります。より多くの皆さんのお越しをお待ちしております。



中澤 徹
卒後研修センター長

医学生として長年の研鑽を積み、ついに医師として歩みだす学生のみなさん。東北大学病院卒後研修センターは、今後の医師人生に大きな影響を与える大切な初期研修がより充実したものになるよう最大限にサポートします。本院は長い歴史に支えられ、国内最大規模の病床数と診療科を武器に、地域医療と最先端医療を実践する我が国を代表する医療機関です。また、基礎研究力の高い東北大学医学部や東北メディカル・メガバンクと連携をとり総合力の高い学び舎となっております。高度な医療を実践する大学病院ならではの専門医療の習得はもちろん、初期研修で求められるプライマリ・ケアの習得は協力病院を選択することでも可能であり、個々の目的とニーズに合った研修を行うことができます。医師としての第一歩である初期臨床研修を、世界に誇る東北大学病院で一緒に歩みだせることを期待しています。



平成31年度1年次初期研修医

東北大学病院卒後研修センター

初期研修プログラムの特徴

個々のニーズに応えるプログラム

2年間のうち最大で10ヶ月間の自由選択期間があり、将来の目標に合わせた研修内容を柔軟に組み立てることができます。将来志望する診療科が決まっている場合には、自分の進みたい診療科及び関連の深い科で重点的に研修を行うことで、専門知識の早期習得が可能となり、初期研修修了後のスタートをより早く切ることができます。一方、志望科が決まっていない場合でも、本院には全ての診療科が揃っているため、じっくりと将来の方向性を定めていくことができます。

充実した救急研修

スタッフ、設備共に全国有数の規模を誇る本院の高度救命救急センターで、救急患者の初期診療から集中治療までを一貫して学ぶことができ、充実した救急研修を行うことが可能です。昨年春に先進医療棟に移転し、新しくなった救命センターには、CTによる診断と手術や治療を同時にできるハイブリッドERが設置されました。2年間を通じて行う救急当直も、豊富な臨床経験を持つ救急専門医の適切な指導の下で安心して行っていただけます。救急研修時に不可欠なBLS、ACLS講習をプログラムに組み込み、講習費用は本院が負担します。

将来のキャリアアップに直結

初期研修修了後の進路として、より深い専門性を磨くための専門研修や、世界水準の研究ができる大学院への進学など、その後の生涯研修がシームレスに繋がる環境を整えています。本院は新専門医制度における19の基本領域すべてにおいて専門医資格を取得できる基幹型専門医研修プログラムを整備し運用しており、初期研修から専門研修への移行もスムーズです。

スペシャリスト一貫養成

東北大学病院は、新専門医制度を考慮し2018年度から全基本領域において、専門医資格だけでなく、学位取得やその先のキャリアも見据えたキャリア形成が可能となる、初期臨床研修からのスペシャリスト一貫教育を開始しています。

初期研修医



初期研修

専攻医



専門研修

専門医



医学博士／専門医



大学院博士課程

留学

専門医療

最先端研究

関連病院群

東北大学大学院医学系研究科／東北メディカル・メガバンク機構

プログラム紹介

1 自由選択プログラム

本院の各診療科と併せて、豊富な協力病院の中から診療科単位で研修先を選択できます。最大10ヶ月間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能なプログラムです。また、研修を進めていく中で志望科が変わった場合などには内容を変更することも可能です。(変更には条件があります。)

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目(内科研修可能な協力病院でも可)
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	1ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大10ヶ月(地域医療と一般外来を同時期に研修した場合)		
	本院のほか協力病院・施設から自由に選択が可能		

■ 東北大学病院(本院) ■ 協力型病院・施設
■ 必修 ■ 自由選択

Aさんの場合 | 内科医志望

初期研修後、内科専門医の取得を目指している。初期研修医のうちに専門研修に必要な稀少症例も経験出来るような診療科を選んだ。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院										協力病院・施設	
	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	救急	精神	小児	外科	麻酔				
2年次	本院										本院	
	血液・免疫科	脳神経内科	産婦	地域医療	一般外来	総合感染症科	腎臓・高血圧・内分泌科	腫瘍内科				

Bさんの場合 | 外科医志望

将来はバリバリの外科医になりたい。そのために基本的な外科手技を数多く経験したい。大学病院と連携する外科を得意とする市内の病院を中心に研修する。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院											
	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	腫瘍内科	救急	小児						
2年次	本院											
	精神	外科	産婦	麻酔	外科	地域医療	一般外来	外科				

Cさんの場合 | 思案中

将来の診療科として、眼科と耳鼻科に興味がありどちらにしようか迷っている。自由選択で眼科と耳鼻科の両方を研修する。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院										協力病院・施設	
	糖尿病代謝科	脳神経内科	腎臓・高血圧・内分泌科	救急	麻酔	小児	外科					
2年次	本院											
	眼科	耳鼻科	地域医療	一般外来	産婦	精神	形成外科					

Message

関根 真奈 自由選択プログラム2年次研修医/秋田大学出身

東北大学病院は東北地方の基幹病院であり、診断や治療が困難な症例が各地から集まります。各科にはそれぞれの領域のスペシャリストの先生がいるため、質の高い診療を目の当たりにすることができます。定期的に各医局で開催される論文の抄読会や、各科の先生による講義も数多く開催されており、学んだことを目の前の患者さんに還元できることや手の届く範囲に常に最先端の情報や学習する機会があることは貴重なことと感じています。同期の人数も多く、定期的に女子会をしたり、研修医室で誕生日会をしたりと楽しく過ごしています。



2 小児科・産婦人科プログラム

充実した小児科または産婦人科研修に加えて、ニーズに合った診療科の選択が可能なプログラムです。1年目の4～6月に本院小児科または産婦人科にて研修を行います。産婦人科を選択した場合は、2年目にNICUで1ヶ月の研修を行います。

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目（内科研修可能な協力病院でも可）
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	1ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	1年目の4月から6月に、小児科または産婦人科研修3ヶ月（産婦人科の場合は、2年目にNICU1ヶ月研修）。
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大8ヶ月（小児科選択者）／最大7ヶ月（産婦人科選択者） （地域医療と一般外来を同時期に研修した場合）		
	本院のほか協力病院・施設から自由に選択が可能		

■ 東北大学病院（本院） ■ 協力型病院・施設
■ 必修 ■ 自由選択

Dさんの場合 | 小児科志望

将来は小児科医を目指している。小児科・産婦人科プログラムで小児科を中心に研修する。自由選択科は、小児科に関係すると思われる診療科中心に選んだ。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院							協力病院・施設				
	小児科		救急		精神	神経内科		循環器内科		腎臓内科		
2年次	本院							協力病院・施設		本院		
	産婦人科	地域医療	一般外来	麻酔		外科	総合感染症科		小児科			

Eさんの場合 | 産婦人科志望

将来は産婦人科医になりたいため産婦人科中心に研修する。特に婦人科に興味があるので、婦人科に関連する診療科を多く選択した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	● 本院 ●											
	産婦人科		救急		総合感染症科		腎臓・高血圧・ 内分泌科		血液・免疫科		精神	
2年次	● 本院 ● ● 協力病院・施設 ● ● 本院 ●											
	NICU	地域医療	一般外来		麻酔		外科	小児科		泌尿器科		産婦人科

Fさんの場合 | 周産期医療に関わりたい

将来は周産期医療に携わりたい。産婦人科をホスト診療科とし、外科や小児科、NICUを長めにローテートするスケジュールを組んだ。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院					協力病院・施設				本院		
	産婦人科		救急		呼吸器内科		腫瘍内科		糖尿病代謝科		精神	
2年次	本院					協力病院・施設		協力病院・施設		本院		
	NICU	地域医療	一般外来	麻酔	小児外科		小児科			産婦人科		

Message

戒能 明 小児科・産婦人科プログラム 1年次研修医／東北大学出身

小児科医としての将来性を考えた時、東北大学病院のポテンシャルの高さに惹かれ、私は本院での研修を選びました。沢山の優秀なスタッフがサポートしてくれますし、最先端の知見や研究にも触れることが出来ます。最新の医療機器のみならず、充実した図書館やウェブサービス提供もあります。つまり、研修医のやりたいことが何でも叶う環境が整っています。東北大学病院では出来ないことはないのではと思うくらい可能性に満ち溢れています。



3 地域医療重点プログラム

本院で10ヶ月、協力病院で14ヶ月研修を行います。院外研修14ヶ月は、宮城県の地域医療の拠点である3次救急施設（下記*の中から選択）で8～10ヶ月、2次救急施設（下記**の中から選択）で4～6ヶ月行い、この14ヶ月間は、宮城県医学生修学資金制度の義務履行期間とみなされます。地域医療および一般外来研修は院外研修中に行います。（研修病院によって、診療科選択の調整が必要な場合があります。）

必修科	内科	6ヶ月	原則1年目（内科研修可能な協力病院でも可）
	救急部門	3ヶ月	うち、1ヶ月は麻酔科研修でも可
	地域医療	2ヶ月	原則2年目
	小児科	1ヶ月	
	産婦人科	1ヶ月	
	外科	1ヶ月	
	精神科	1ヶ月	
	一般外来	1ヶ月	
自由選択科	最大10ヶ月（地域医療と一般外来同時期に研修した場合）		
	本院のほか3次救急施設*、2次救急施設**、その他協力施設		
	* 石巻赤十字病院、みやぎ県南中核病院、大崎市民病院 ** 気仙沼市立病院、登米市立登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、公立刈田総合病院		

■ 東北大学病院（本院） ■ 協力型病院・施設
■ 必修 ■ 自由選択

Gさんの場合 | 3次救急病院を長めに研修したい

本院と県内の3次救急施設病院でしっかり研修し、その後、より地域に密着した2次救急施設で4ヶ月研修を行う。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院							3次救急施設病院				
	消化器内科			救急		精神	呼吸器内科		循環器内科		外科	
2年次	3次救急施設病院							2次救急施設病院			本院	
	麻酔		地域医療	小児	地域外来	産婦	外科		脳神経外科		救急	

Hさんの場合 | 2次救急病院を長めに研修したい

2次救急施設での研修を長く行いたいので、3次救急施設の研修を8ヶ月、2次救急施設で6ヶ月研修する。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院						3次救急施設病院					
	循環器内科			救急		精神	神経内科		産婦		麻酔	
2年次	3次救急						2次救急施設病院				本院	
	地域 外来	外科	小児	地域 外来	消化器内科		外科		総合感染症科		放射線 診断	総合 診療

Iさんの場合 | バランスよく多くの診療科を経験したい

大学病院、3次救急施設、2次救急施設それぞれで幅広く研修を行いたい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	本院							3次救急施設病院				
	救急		呼吸器内科		外科		糖尿病代謝科		循環器内科		神経内科	
2年次	3次救急				2次救急施設病院				本院			
	小児	地域医療 一般外来		産婦	麻酔		小児	整形外科	精神	救急	腎・高血圧・ 内分泌科	

Message

渡邊 大海 地域医療重点プログラム 1年次研修医／東北大学出身

大学病院、3次、2次の市中病院、地域医療研修ができる地域医療重点プログラムを選択しました。最先端の医療を行う大学では学会発表を目標にします。3次の市中病院では内科を選択し、より頻度の高い疾患を学びます。2次の市中病院では、外科系を中心に手術手技を磨きます。さらに、それぞれの医療圏の救急に携わり、各医療圏の問題や限界を肌で感じられるのは将来の大きな糧となると思います。専門医制度が年々変更されているので、臨機応変に研修を行える大学病院はよいのかもしれません。病院見学に多めに行って、医局や専門医についての情報をしっかり集めることをお勧めします。



連携病院一覧

東北地方全域と関東に広がる様々な規模の協力病院・施設と緊密に連携し、施設それぞれの役割に応じた研修を行うことができます。大学病院と協力病院との、異なる性格を持つ施設で研修することで、幅広い経験を積むことが可能です。

青森

青森県立中央病院
国民健康保険五戸総合病院
独立行政法人国立病院機構八戸病院
十和田市立中央病院
八戸市立市民病院

秋田

雄勝中央病院
大曲厚生医療センター
市立角館総合病院
平鹿総合病院
本荘第一病院
由利組合総合病院

山形

公立学校共済組合東北中央病院
日本海総合病院
山形県立新庄病院
山形県立中央病院
山形市立病院済生館
米沢市立病院

福島

いわき市医療センター
太田総合病院附属太田西ノ内病院
公立相馬総合病院
寿泉堂総合病院
白河厚生総合病院
脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
竹田総合病院
独立行政法人労働者健康福祉機構福島労災病院
星総合病院

茨城

水戸医療センター

埼玉

国立障害者リハビリテーションセンター病院
さいたま赤十字病院

北海道

帯広第一病院

岩手

岩手県立胆沢病院
岩手県立大船渡病院
岩手県立中部病院
岩手県立南光病院
奥州市総合水沢病院
独立行政法人国立病院機構岩手病院
独立行政法人国立病院機構花巻病院
北上救済会病院
岩手県立磐井病院
岩手県立高田病院
岩手県立遠野病院
岩手県立宮古病院

宮城

青葉病院
石巻赤十字病院
大崎市民病院
女川町地域医療センター
栗原市立栗原中央病院
気仙沼市立本吉病院
公立刈田総合病院
こころのホスピタル古川グリーンヒルズ
南三陸病院
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院
独立行政法人国立病院機構宮城病院
坂総合病院
塩竈市立病院
JR仙台病院
JCHO仙台病院
JCHO仙台南病院
仙台往診クリニック
仙台オープン病院
仙台厚生病院
仙台徳洲会病院
仙台市生出診療所
仙台市立病院
仙台赤十字病院
社会福祉法人将道会総合南東北病院
東北公済病院
東北医科薬科大学病院
東北医科薬科大学若林病院
東北会病院
東北福祉大学せんだんホスピタル
独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院
登米市立登米市民病院
宮城厚生協会長町病院
丸森町国民健康保険丸森病院
宮城県赤十字血液センター
宮城県がんセンター
宮城県立こども病院
宮城県立精神医療センター
みやぎ県南中核病院
涌谷町町民医療福祉センター
石巻市立病院
いずみの杜診療所
岡部医院/岡部医院仙台
国見台病院
気仙沼市立病院
広南病院

研修医の1日



総合外科研修中の
研修医の1日に密着



釜野 大典

自由選択プログラム2年次研修医
東北大学出身

8:00 出勤



8:30

術前・術後検討会



週に二度ある、診療科全体でのカンファレンス。必要とされる検査や治療を自分で考えてプレゼンテーションを行い、指導医の先生方と今後の治療方針についてディスカッションします。多くの先生方からフィードバックをもらうことができ、大変勉強になっています。



14:00

手術

この日2件目となる手術は閉塞性動脈硬化症の患者さんに対するバイパス術です。人工血管を用いて、狭窄のない動脈に吻合する手術に助手として入らせていただきました。



16:00 手術終了

術後管理へ。



13:30 術前確認

画像を見ながら手術前の最終確認を行います。



17:00 医局会

月に1度行われる医局会。この日初めての参加となった1年次研修医に向けて、救急当直のルールや研修医としての心構えを伝えました。



18:30 勤務終了

9:30 血管内治療

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術に助手として入りました。血管造影装置が備ったハイブリット手術室で、高画質な透視画像を見ながら行います。高度な手技にも積極的に関わる機会をいただくことができます。



Message



自由なカリキュラムもさることながら、各診療科が主催しているセミナーや講習を数多く受けられるのも大学病院の強みです。卒後研修センターが主催する生きたプラを使った手術手技トレーニングに1年次に参加しました。朝から夕方までの約6時間、研修医3～4名に対し、呼吸器外科と胃腸外科の2名の先生が付いてくださり、濃密な訓練を受けることができる有意義なトレーニングです。初期研修医のうちにJATECを受講できたのも貴重な体験となりました。サポート体制が万全な環境にいることを実感している毎日です。

研修医の声



安 在健

自由選択プログラム 2 年次研修医
杏林大学出身

先進医療を間近で体感できることが最大の魅力。
将来を見据え、充実した研修生活が送れます。

東日本大震災を経験し、地元への社会貢献を考え東北大学病院での研修を選択しました。日々内容の濃い高度な診療が多く、ローテーションする科ごとに専門的な医療を提供している現状を目にすることができます。自分の不勉強を痛感させられますが、良い刺激・モチベーションとなっています。初期研修2年間は思っているよりあっという間で無駄にできる時間はそうありません。東北大学病院では各分野の専門家のもとで研修ができるため、将来を見据えた準備をしつつ、充実した研修生活を送ることができます。

研修スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	本院						協力病院		本院			
	循環器内科	小児	救急	産婦	消化器内科	神経内科	腎・高血圧・内分泌科					
2 年次	協力病院		本院									
	地域医療	整形外科	麻酔	救急			外科	整形外科	精神			

医学生へ一言

百聞は一見にしかず！まずは、面倒でもたくさん見学を重ねることです。行けば実感が湧き、自ずとやりたいことも見えてくるはずです。



庄司 理乃

自由選択プログラム 1 年次研修医
秋田大学出身

全員が十人十色のスケジュールを組んでおり、先輩方や同期との情報交換も盛んです。

東北大学病院の魅力は選択肢の多さでした。診療科が選べるのは勿論のこと、回る時期も期間も、希望に合わせて選ぶことができます。現在志望科未定のため、学生時代に興味を持った科を中心としたローテーションを考えています。研修医の数も年々増加しているので活気があります。さらに、専門に特化した医師、スタッフも豊富であるという大学病院の特徴ゆえ、自主性が磨かれると感じ、これからの研修が楽しみです。病院スタッフ全員で私たちを育てようとしてくださっており、やる気がみなぎります。

研修スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1 年次	本院										協力病院			
	循環器内科	産婦人科		救急		総合診療	感染症科	放射線診断	救急	外科				
2 年次	本院										協力病院		本院	
	呼吸器内科	糖尿病代謝科		小児	形成外科	乳腺外科	地域医療	産婦	NICU	精神	救急			

医学生へ一言

仙台に住んでみたい方、東北大学に知りあいがいる方、個性を大切にしたい方、是非一度見学へ！人数が多い分、無理に合わせず尊重し合う環境があります。

修了者の声



小野山 薫

2018 年度修了者
東北大学病院 救急科専攻医
(石巻赤十字病院救命救急センター勤務)

重症の患者さんを救う診療スキルを持つ
救命センターでの研修が活かされています。

東北大学病院は3次救急施設であるため、救急科ローテート中や当直などで重症の患者さんを診る機会が多くあります。呼吸や循環管理などが必要な場面を多く経験していくうちに、全身管理に魅力を感じ、志望科を救急に決める要因にもなりました。重症な患者さんを救うために、初期診療から集中治療、退院まで一貫してチームで診療に当たり、質の高い対応を学ぶことができました。現在も3次救急の病院で勤務していますが、東北大学病院で経験したことが活かされていることを感じています。

研修スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	本院		協力病院				本院					
	血液免疫科	漢方内科	眼科	耳鼻科	整形	腎・高血圧・内分泌科	小児科	救急				
2 年次	本院		協力病院		本院		協力病院		本院			
	精神	産婦人科	地域医療	皮膚	救急	感染症科	産婦	麻酔	救急			

医学生へ一言

研修中は日々わからないことと直面し、環境も頻繁に変わります。体調に気をつけつつ、謙虚な姿勢でいることが、多くのことを学ぶために大事だと思います。



遠藤 拓弥

2018 年度修了者
東北大学病院 耳鼻咽喉科専攻医

研修病院選びに悩んでいる方にお勧めのプログラムだと思います。

専門性の高い研修ができる大学病院と、common diseaseを多く経験できる市中病院で研修を行う地域医療重点プログラムで研修しました。大学病院と市中病院との、同一疾患に対するアプローチの違いなど幅広い視点を得ることができたと実感しています。大学病院には指導医も多く、最先端の医療はもちろん、基本的な手技・手術も経験することができます。学会に参加する機会も多く、モチベーションの向上に繋がりました。研修病院にはそれぞれにメリットがあり、複数の医療機関で研修ができたことは、良い経験となりました。

研修スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	本院				協力病院							
	救急	耳鼻科	精神	眼科	内科	神経内科	消化器内科	腫瘍内科				
2 年次	協力病院								本院			
	地域医療	眼科	耳鼻科	小児	呼吸器内科	循環内	皮膚	麻酔	産婦	救急	耳鼻科	

医学生へ一言

東北大学病院の地域医療重点プログラムは、研修病院をどこにするか悩んでいる方にお勧めできるプログラムです。



石井 正

卒後研修センター副センター長
総合診療科科長／漢方内科科長

本気でスペシャリストを目指す人、集まれ。
星陵から世界へ あなたの未来が始まります。

2018年度から新専門医制度が開始され、専門医資格取得を目指す研修医は初期臨床研修終了後、目指す専門領域の専門研修プログラムに登録して研修することが求められるようになりました。東北大学病院では豊富な関連病院と連携した全19領域の基幹型専門研修プログラムを整備し、初期臨床研修と専門研修を、同じ指導体制のもとシームレスに一貫教育できる体制を整えています。従って、本院の初期臨床研修→専門研修と進めば、医師としての基本スキルから世界最先端の先進医療まで総合的に学ぶ、中身の濃いスムーズなキャリア形成が可能です。



小林 正和

卒後研修センター室員
救急科専門医

身につけるべきは答えではなく、自ら解決する力。
自分自身でしっかり考えてもらうようにしています。

ただ教えるだけではなく、自分自身でしっかりと考えるようにしてもらっています。勉強するためのツール、調べ方などを身につけてもらうためです。救命センターは常に上級医がいる環境で、コンサルトも非常にしやすいと思います。また、受け持ち患者の状態を日々把握することで、瀕死の状態で入院された患者さんが回復していく姿をみることができ、やりがいにつながっていくと考えます。見学も随時受け付けていますので、興味のある方、ぜひいらしてください。

卒後研修センタースタッフより Message

一人ひとりが思い描く未来の実現のため
我々スタッフは全力を尽くします

研修医の皆さんが2年間に在籍する卒後研修センターには、センター長を始め5名の副センター長と2名の専任教員がおり、皆さんにより良い研修を行っていただけるよう、研修環境の改善に日々取り組んでいます。また、各診療科に2名ずつ配置されたセンター室員と我々スタッフが、2年間の初期研修の間に生じる問題点や悩み、研修の進め方やキャリア形成についての相談に応じます。皆さんの初期研修が心身ともに充実したものになるよう、私たちがサポートします。



施設紹介



先進医療棟

免震構造の建物に最新の設備と機能を備えた先進医療棟が、昨年春にオープンしました。ハイブリットERを設置した高度救命救急センターをはじめ、難易度の高い手術に対応可能な手術室、東北地方で初めての導入となる高精度な機器を取り入れた放射線治療室など、最先端の医療技術を学べる環境が整っています。



先端医療技術トレーニングセンター

国立大学病院の専用施設としては全国初となる、動物を用いた手術トレーニング施設です。実際の外科手術と同様に、手術の進め方や手術器具・器械の使用方法を、臨床の現場で手術を執刀している講師陣から学べる、研修医向けの外科トレーニングを定期的に開催しております。



クリニカル・スキルスラボ

医療現場を模した環境の中にシミュレーターや医療機器、備品などが多数整備されています。専任教員のサポートを受けながら、安全かつ効果的に臨床技能を繰り返し習得することができます。



附属図書館

休日も利用できる図書館には、オンラインジャーナルや医学関連雑誌が充実しており、文献の検索や国内外の図書の取り寄せも可能です。



研修医室

研修医の皆さんのコミュニケーションの場となる研修医室には、机、パソコン、ロッカーなどを備えています。研修医専用の仮眠室やシャワールームも隣接されており、より快適に過ごしていただけるよう配慮しています。



研修医宿舎

病院のある星陵キャンパス敷地内にある研修医用の宿舎「星陵レジデンス」。県外から来られる方も、住まいの心配をせずに研修を始めることができます。月額15,000円で利用が可能です。

研修開始までの流れ

入職後スムーズに研修を開始していただくため、マッチング決定後から3月下旬までの長期間にわたり、ホスト診療科の医師とメンター研修医のサポートのもと、2年間の研修スケジュールを決めていきます。また、2年次のスケジュールは、1年次の後半に確定します。

10月中旬	12月上旬	12月中旬	1～2月中旬	2～3月	3月下旬	4月
マッチング 結果発表 メンター研修医 決定	一次調査・ ホスト診療科 希望調査 メンター研修医と 相談しながら2年 間のスケジュール 案を作成	ホスト診療科 および メンター決定	二次調査 ホスト診療科 のメンターと研 修スケジュール を相談	卒後研修 センターにて 調整	スケジュール 決定	研修開始 入職後最初の 2週間はオリ エンテーショ ン期間

ホスト診療科

希望する診療科の医師が、マッチング決定後から、一人ひとりの目標に沿った研修ができるよう診療科や協力病院を選択するうえで相談役となります。その他、2年間を通して精神的な面も含め様々なサポートを行います。これは入局とは異なり、研修修了後は何の義務も負いません。志望科が未定の場合などは、卒後研修センターをホスト診療科として選択いただけます。



同窓会

マッチングが決定した医学生の皆さんに、2名ずつのメンター研修医が選定され、2年間のスケジュールを決める際にアドバイスをを行います。毎年11月に開催する同窓会にて、メンター研修医と顔合わせをする機会を設けており、その後の相談をスムーズに進めることができます。同窓会を、これから本院で研修を始める方、研修を修了した方のキャリアアップを支える窓口と位置づけ、様々な支援を行います。



オリエンテーション

医療安全等の座学から、シミュレーターを使用した実習までしっかり学習します。また、救急研修に不可欠なBLS講習をオリエンテーション期間中に受講します。



募集について

募集要項

募集定員(予定) 自由選択プログラム: 34 名 小児科・産婦人科プログラム: 4 名 地域医療重点プログラム: 4 名

応募資格 マッチング対象者

選考日 8 月 ~ 9 月 日程が決まり次第 HP に掲載します。
左記期間以外でも 病院見学时に随時受験が可能です。(マッチング対象者)

選考方法 面接試験

応募書類 本院卒後研修センターへ以下の書類を提出

① 東北大学病院初期臨床研修申請書 ※	⑤ 成績証明書
② 履歴書(写真貼付) ※	⑥ 返信用封筒
③ 自己 PR 表 ※	(長 3 サイズ / 512 円分切手貼付 / 住所・氏名明記)
④ 卒業見込み証明書(医学部卒業見込み者)	※ HP よりダウンロード可能
卒業証書写し又は卒業証明書の原本(既卒者)	

応募・お問合せ先 東北大学病院 卒後研修センター TEL: 022-717-7765
E-mail: hos-sotu@grp.tohoku.ac.jp

処遇

身分 准職員 医員(研修医)

給与 日額 9,075 円 + 諸手当
※ 月額およそ 30 万円(税込み)の収入が見込まれます。

諸手当 宿日直手当(20,000 円 / 回)、超過勤務手当、
特殊勤務手当、通勤手当、退職手当

勤務時間 8 時 30 分 ~ 17 時 15 分

休暇 年次有給休暇(6ヶ月勤務後に 10 日間、2年目は 11 日間付与)、
リフレッシュ休暇(3日間)、忌引休暇、産前産後・病気休暇等

社会保険など 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、雇用・労災保険

医師賠償責任保険 病院として加入しているほか、個人としても加入

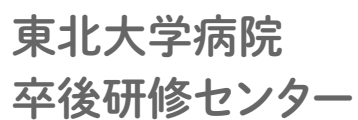


詳しくは HP をご覧ください。
<http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp>

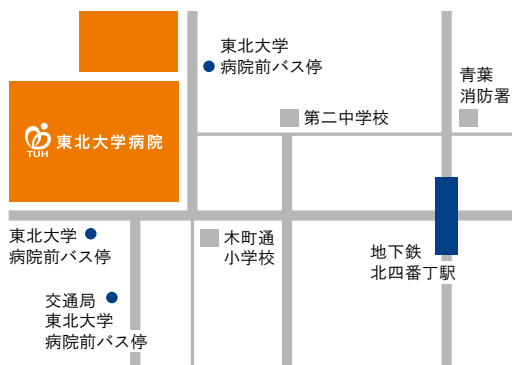


交通費一部補助あり

HPよりお申し込みください。マッチング対象者は、同時
に採用試験をいつでも受けることが可能です。



<http://www.sotuken.hosp.tohoku.ac.jp>



タクシー 仙台駅タクシーのりばより 所要時間 約15分